

「思考の方法」

「比較」「分類」「具体化」「抽象化」など、情報を整理し、自分の考えを形づくための「思考の方法」を9種類取り上げました。

それぞれの「思考の方法」について、解説動画とワークシートが「買いただけます」。

「問うこと」から始めよう

「今から五分前」というときの「前」は「過去」のことですが、もう過ぎたことなのだから「後ろ」なのではないでしょうか。でも「五分後」は「未来」です。

あたりまえだと思っていた物事を、改めて見つめることで、もの見方を広げることが出来ます。そのきっかけが「問い」です。「問い」をもつことは、物事をより多くの面から見つめ、深く考えるための第一歩です。

友達の考えを受け止め、問い返すことで、実りある対話が生まれます。また、自分自身に問いを向けることで、説得力のある考えをもつことが出来ます。問いを重ねて探究することが、主体的で深い学びを生み出すのです。

「思考の方法」とはなにか

「よく考えよう」と言われます。しかし、考えるとは、具体的にはどうすることなのでしょう。

この教科書では、三年間で九種類の「思考の方法」を示しました。これらを意識することで、考える糸口や進め方が見えてきます。発想するとき、別の面から考えてみたいときなどに活用してください。新たな方法を加えたり、いくつかの方法を組み合わせて使ったりするのも効果的です。

考えようとしていることを書き出し、つなげたりまとめたりすることで、ばらばらなものの中に新たな意味が浮かんできます。情報の関係を捉えることが思考の基礎です。さまざまな学習の場面で繰り返し活用してください。



- 1 順序立てる
- 2 比較する
- 3 分類する
- 4 関連づける
- 5 多角的に見る
- 6 理由つける
- 7 具体化する
- 8 抽象化する
- 9 仮定する

「思考の方法」一覧

この一覧では、「思考の方法」を手助けするチャート(図)とその使い方の例を説明しています。それぞれの「思考の方法」に合ったチャートを用いて情報を可視化することで、考えがまとまりやすくなります。

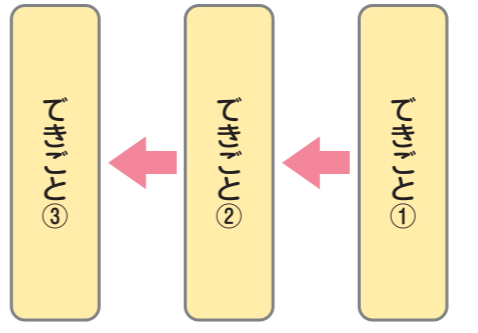
自ら問いを生み出し、それを解決するために、「思考の方法」とチャートを活用していきましょう。

思考の方法 順序立てる

順序を整理したり、並べ替えたたりすることによって、内容のまとまりや全体の流れが捉えやすくなり、考えを整理できます。



ステップチャート



てきごとの順序や主張の構成などを並べて整理する。

朝のリレー (24ページ)
スピーチ (111ページ)

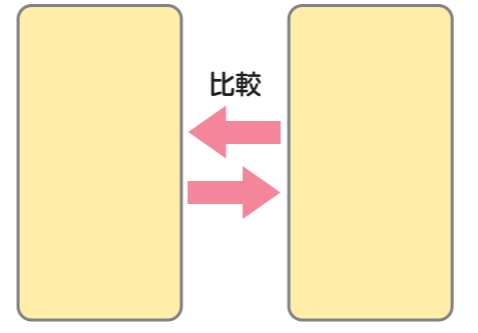
それぞれの「思考の方法」の内容で、思考を可視化するのに便利なチャート(図)の一覧を折り込みで示しました。

思考の方法 比較する

二つ以上のものを互いに比べ合わせることで、同じところや似ているところ、違うところをはっきりさせることができます。

どのような点で比べるかという比較の視点を明らかにしておくことで、考えがより詳しく、確かなものになります。

比較チャート



比較する項目を左右に並べて共通点や相違点を考える。

竜 (34ページ)、字のない葉書 (84ページ)
詩 (171ページ)、トロッコ (182ページ)

それぞれの「思考の方法」の内容で、思考を可視化するのに便利なチャート(図)の一覧を折り込みで示しました。

思考の方法 分類する

物事をグループ分けすることによって、整理され、物事どうしの関係性がわかりやすくなります。

分類するときは視点を明確にします。

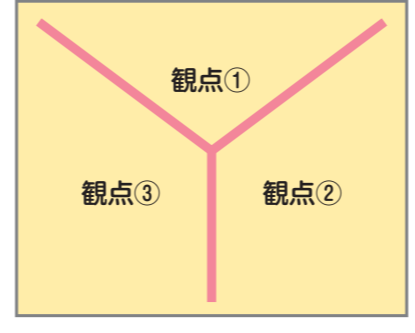


マトリックス(表)

	観点①	観点②
観点A		
観点B		

行と列ごとに視点を割り当てて分類する。

Yチャート



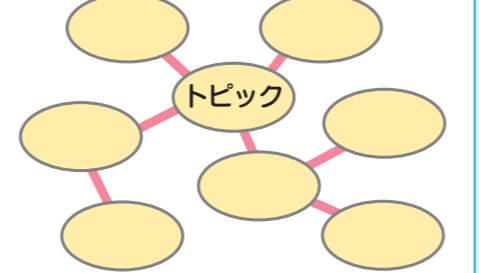
紙面をYの文字を使ってぐり、それぞれに視点を割り当てて分類する。

レポート (61ページ)

思考の方法 関連づける

あるものと、別のあるものとを結びつけて考えることにより、考えがより確かになり、それぞれだけではわからない新しい考えや見方を得たり、新しい発想が生まれたりします。

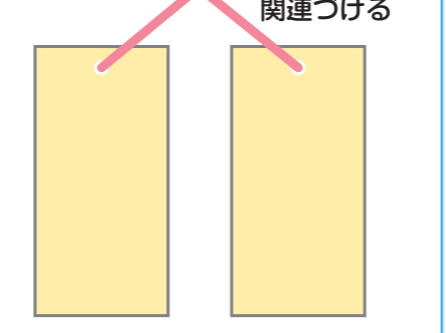
イメージマップ



中心にトピックを書き、そこから連想する事柄を周りに広げて、関連を整理する。

随筆 (88ページ)

リンクチャート



二つ以上の事柄を並べ、結びつけて考える。

意味と意図 (196ページ)

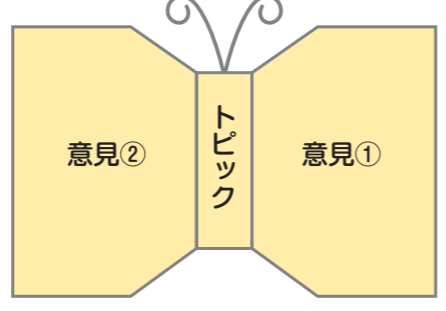
それぞれの「思考の方法」の内容で、思考を可視化するのに便利なチャート(図)の一覧を折り込みで示しました。

思考の方法 多角的に見る

別の視点から物事を考えてみます。

同じ物事についても、どの立場や視点から見ると、別の意味や価値を見いだすことができます。

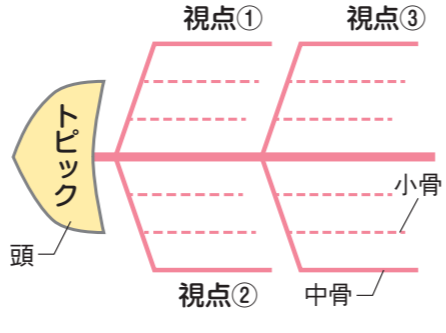
バタフライチャート



チョウの胴体にトピックを書き、左右の羽に異なる立場の意見をそれぞれ書く。

クジラの飲み水 (54ページ)

フィッシュボーン



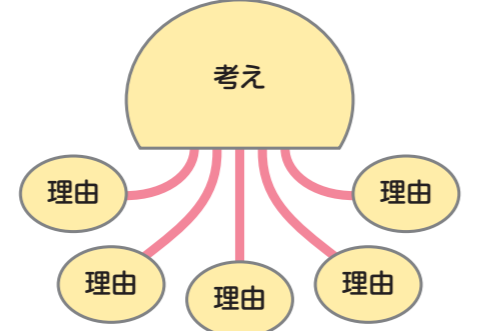
魚の頭にトピックや課題を書き、中骨にそのトピックを考える際の視点を、小骨に具体的な事柄を書く。

竹取物語 (130ページ)

思考の方法 理由つける

考えや主張について、理由や根拠を明らかにすることによって、その確かさを検証したり、説得力を高めたりすることが出来ます。

クラゲチャート



クラゲの胴体に考えや主張を書き、足にその理由や根拠を書く。

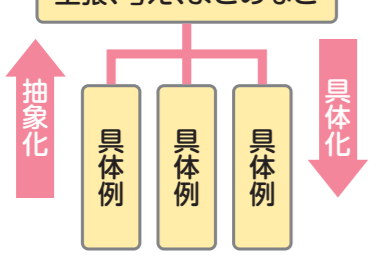
クジラの飲み水 (54ページ)

思考の方法 具体化する

ある事柄について、具体的な例を示すことで、考えがはつきりし、誰でも確かめやすく、わかりやすくなります。



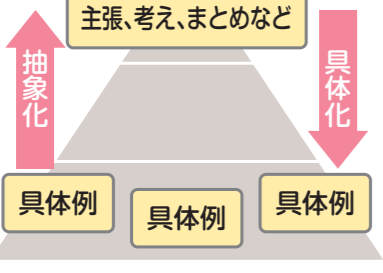
ロジックツリー



抽象的な事柄について、「例えば○○だ。」と具体例をあげていく。

1000円の価値を考える (104ページ)

ピラミッドチャート

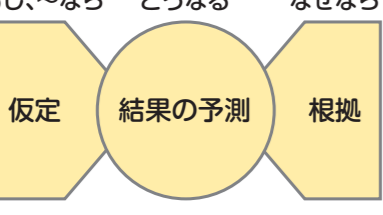


段が下がるごとに具体的になるよう整理する。

思考の方法 仮定する

実際にあるものとは違った場合を想定することで、見方を広げたり、今あるものよさや意味、効果などを確かめたり出来ます。

キャンディチャート

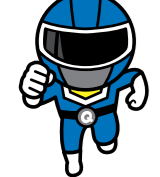


チャートの左側には、仮定を、まん中には、その仮定に基づいた結果を予測して書く。右側には、予測の根拠を書く。

空中ブランコ乗りのキキ (76ページ)
少年の日の思い出 (218ページ)

思考の方法 抽象化する

いくつかの具体例について、共通する要素や性質を抜き出してまとめることで、中心となるものを把握して、考えを整理できます。



いくつかの具体例を、「つまり○○だ。」とより広い意味の言葉でまとめる。